

U18男子ホッケー日本代表オーストラリア遠征

会 場	Sydney Olympic Hockey stadium	日 付	2019年2月15日
試 合	フレンドリーマッチ	天 候	晴れ
		通算結果	1勝3敗0分

Country	RESULT	Country																
日本 (U18) JAPAN	4	5 NSW (U18) Australia																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>0</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>2P</td><td>2</td><td>-</td><td>2</td></tr> <tr><td>3P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>4P</td><td>2</td><td>-</td><td>2</td></tr> </table>			1P	0	-	1	2P	2	-	2	3P	0	-	0	4P	2	-	2
1P	0	-	1															
2P	2	-	2															
3P	0	-	0															
4P	2	-	2															

Start	No.	Name	備考
✓	1	森本 康介	GK
	2	福田 匠	GK
✓	3	戸田 樹	
✓	4	川村 裕亮	
✓	5	小林 弘人	
8	8	伏谷 周真	
16	9	岩山 航大	
✓	10	山中 千畝	
✓	11	田村 圭梧	
5	12	橘 汰威	
✓	13	松本 和将	
5	15	入江 修也	
✓	17	白椋 樹也	
✓	18	柴田 光市	
✓	19	藤沢 颯人	
16	21	松本 圭太	
5	22	大岡 凌磨	
✓	23	丹羽 巧磨	C
ヘッドコーチ		酒井 健之	
UMPIRE		Cooper Alderton	

Start	No.	Name	備考
✓	2	E Smith	GK
4	3	W Searl	
✓	4	Z Young	
3	12	L Cope	
✓	15	P Vafani	
4	16	J Lambeth	
5	17	D Moussa	
✓	18	C Tuddenam	C
✓	20	B Smith	
4	38	R Sheils	
✓	41	R Jetley	
4	49	K Willott	
✓	50	M Davis	
✓	54	N Czinner	
✓	56	M Taylor	
	85	J McCann	GK
✓	93	S Wright Smith	
ヘッドコーチ		Adrian McGrath	
UMPIRE		Peter Wright Smith	

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	13	N Czinner	PG	0-1
JPN	20	山中 千畝	FG	1-1
AUS	22	J McCann	FG	1-2
AUS	24	K Willott	PG	1-3
JPN	29	丹羽 巧磨	FG	2-3
AUS	47	J Lambeth	FG	2-4

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	54	B Smith	FG	2-5
JPN	55	入江 修也	FG	3-5
JPN	57	大岡 凌磨	FG	4-5

得失点の経緯

オーストラリア・フレンドリーマッチ 第4戦
 第1Q NSWのボールで試合開始。立ち上がり両者とも中盤で激しいボール争いをするが、ミスが目立ちゲームを支配することが出来ない。13分、NSWに左サイドを攻め上がられPCを取得される。これを#54N Czinnerにドラッグフリックを左下に決められ0-1と先制される。
 第2Q 17分、日本は#23丹羽のドリブルからPCを取得するがシューター#5小林のシュートは相手DFにクリアされる。20分、日本は右サイドを突破した#23丹羽から折り返しのパスを受けた#10山中が左下にブッシュシュートを決め1-1の同点とする。直後の22分、NSWのDFが上げたスクープパスを日本DFが処理をミスし、#85J McCannに追加点を許し1-2とされる。24分、NSWはPCを取得し#49K Willottがドラッグフリックを右上に決められ1-3とリードを広げられる。29分、日本は#23丹羽が中盤で相手のボールをインターセプトしサークルに進入、ブッシュシュートを左下に決め、2-3と食い下がる。
 第3Q 日本のボールで試合開始。33分、#23丹羽のドリブルからPCを取得するがシューター#13松本和将のシュートは相手GKにクリアされる。37分、セットプレーから#13松本和将がサークル内で待つ#23丹羽にパスを通し、決定的なチャンスを作るがタッチシュートはゴール上を外れる。44分、相手陣内でボールを受けた#15入江が右サイドからクリーンシュートを放つがGKに阻まれる。
 第4Q 両者、中盤での激しいボールの奪い合いでゲームが進む中、47分、NSWにサークル右から侵入をゆるし、折り返しを混戦の中から#16J Lambethに決められ2-4と突き放される。日本は激しくプレッシャーをかけるが54分、逆にNSWにカウンターのゆるし#20B Smithに追加点をあたえ2-5と突き放される。得点の欲しい日本は粘りを見せ55分#15入江、57分#22大岡と連続得点し1点差に詰め寄るが4-5で試合終了。
 選手たちは、悔しいのか。本当に悔しいのか。終わって気づいてからでは遅いのだ。
 個だけでホッケーをするとは今回の結果になる。個の能力を組織の力にできれば強いチームが生まれることを選手には分かっていたほしい。
 コミュニケーション・先手ある考え、プレー・ボールポゼッションを高める。
 この4戦目は緊張感のある時間帯が続いたが全体的に硬さの見えた日本選手はプレッシャーの中、自分たちのホッケーをする事ができなかった。次戦の最終戦はこの遠征の集大成を選手に期待したい。通算成績1勝3敗0分

日本	3	PC数	2	NSW(U18)
	9	シュート数	7	